

医療経済実態調査（医療機関等調査）に関する検討事項（案）

1. 調査スケジュールについて

(1) 調査時期をいつにするか。

○ 前回通り 6 月で良いか。

(参 考) 各期の実施月及び平日日数について

	(調査月)	(平日日数)	
	平成13年 6 月	2 1 日	
〔	1 2 回調査	平成11年 6 月	2 2 日
	1 1 回調査	平成 9 年 9 月	2 0 日
	1 0 回調査	平成 7 年 6 月	2 2 日
	9 回調査	平成 5 年 6 月	2 2 日
	8 回調査	平成 3 年 6 月	2 0 日
	7 回調査	平成元年 6 月	2 2 日

(2) 速報をいつ行うか。

○ 前回通り 1 2 月で良いか。

(参 考) 速報値に係る集計率（最終集計に対する割合）

〔	1 2 回調査	平成11年 6 月調査	同年 1 2 月速報値	95.0%	〕
	1 1 回調査	平成 9 年 9 月調査	同年 1 2 月速報値	73.0%	

(注)・速報は調査事項のうち収支に係るもの

(3) 日数補正についてどう考えるか。

2. 調査客体及び調査内容等について

(1) 介護報酬に係る収入を有する医療機関等の取扱いをどうするか。

○ 調査項目をどうするか。

- ・ 介護病床数、要介護者数、介護サービスに従事する者の数等を調査項目とするか。
- ・ 診療報酬に係る収入、介護報酬に係る収入を有する医療機関等について、その当該医療機関の収支構造をどの様に調査するか。

(2) 中医協でこれまで指摘のあった事項について、今回の調査においてどう取扱うか。

(調査関連)

○ 定点観測調査についてどの様に考えるか。

○ 部門別（入院・外来別）収支状況調査についてどの様に考えるか。

・ 医業の収入については把握を行っているところであるが、医業費用を入院・外来別に把握することは困難な状況にあり、どの様に取扱うか。

(集計・分析関連)

○ 院外処方率に応じた収支状況分析をどの様に行うか。

(3) 前回ケーススタディとして実施した薬剤関係調査についてどの様に取扱うか。

(4) その他